

第36号

発行日 平成24年1月1日
 発行所 公益社団法人能代市
 シルバー人材センター
 啓発広報委員会
 能代市青葉町5-37
 電話(0185)54-4688
 ファックス兼用 54-6037



シルバーのしる

謹賀新年

ときめきの数ほど伸びるつくしんぼ
 ほのぼの温くほほ染めながら

加藤 トキ

写真：小林正之

【理事長】

小林 正之 (啓発広報委員)

【副理事長】

大塚 錦作 (就業開発委員長)

【常務理事】

保坂 敏道 (事務局長)

【理事】

佐藤 佳治 (安全推進委員長)

武田 幸夫 (安全推進委員)

山田 公孝 (安全推進委員)

伊藤 正範 (安全推進委員)

工藤 良一 (安全推進委員)

岸部 藤一 (就業開発委員)

茂呂 アツ子 (就業開発委員)

加藤 トキ (啓発広報委員)

奥村 孝男 (啓発広報委員)

佐藤 義則 (啓発広報委員)

【監事】

原田 敦子 (啓発広報委員)

飯坂 紘三 (就業開発委員)

清水 清美 (啓発広報委員)

事務局職員

事務局次長 石塚 哲子

経理係長 浅野 典幸

主事(業務担当) 佐々木 国博

臨時職員 渡辺 涼子

臨時職員 小中 幸次



新年のあいさつ

理事長 小林 正之



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は日本ばかりか世界中が自然災害や人災に見舞われ、日々のニュースに心を痛められた方も多かったと思います。3月11日の大震災に際しまして、義援金のお願いをいたしましたところ、会員の方々には多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。あの震災等をきっかけに、日本人も世界中の人々も、自分の持っているやさしさ、思いやりなどの温かい心に改めて気づかされたことと思います。

さて、能代市シルバー人材センターが東北地区で最初の公益社団法人となり、早9ヵ月が過ぎました。長引く経済不況による仕事量や契約額の減少という先細り状態からは脱し切れませんが、会員の皆様の明るい笑顔に励まされ元気付けられております。その、明るく前向きな姿こそが、利用者へ安心感を抱かせ信頼を醸成のだと思います。

昨年、少しは自分たちも夢を持ちたいとの発想から、シルバー農園を立ち上げました。初めての試みでしたが、ボランティアで協力して下さった会員の方々のお陰をもちまして、ささやかながらも収穫にこぎつけることが出来ました。いちばん嬉しかったことは、自分たちの可能性を否定せず、皆で可能性の芽を吹き出させてくれたことです。今はまだ小さな一歩にしか過ぎませんが、シルバー農園という夢の苗が本年以降もすくすくと伸び続け、何年か後には大きな花を開き、独自事業という実を結んでくれる日を待ち望んでいます。

「夢は追い続ける限り必ず叶えられる」と言った人がおります。難儀であっても努力し続けることが私たちシルバー人材センターの将来につながるものと信じます。

今年の干支は龍で、寅と共に運気の強い年とも言います。神龍が風を起し、雲に乗って天に駆け昇り、手に持った龍玉でこの地上を明るく日映く照らしてほしいものです。

会員の皆様も健康で、特に就業中の事故は決して起さず、平安な一年であって欲しいと祈っております。



新年を迎えて

能代市長 齊藤 滋 宣



明けましておめでとうございます。

新年を迎え、皆さまのご多幸をお慶び申し上げますとともに、口頭より市政運営につきまして、格別のご理解とご協力をたまわり厚くお礼申し上げます。

昨年は、東北で初めて「公益社団法人」の認定を受け、新生「公益社団法人 能代市シルバー人材センター」となりました。これも小林理事長をはじめ役員、会員の皆さまの積極的な取り組みの賜物と、心から敬意を表します。

秋に発表された2010年国勢調査によりますと秋田県の高齢化率は、島根県を上回り、全国トップとなり、急速に高齢化が進んでおります。そのような中で、会員の皆さまが、それぞれの立場で持てる力を十分に発揮し、社会に貢献していただいていることや、働くことを通して、健康でイキイキとした生活を送り、皆さまの知識と経験を社会に還元していただくことは、この地域の活性化の大きな原動力となっております。

また、昨年は新たに「シルバー農園」に取り組んでいただき、ネギ専業農家にも負けないような立派なネギを収穫されたと聞いております。これからの高齢社会をリードする地域の担い手として、大いに期待しているところであります。今後は「シルバー農園」が皆さまの収益に繋がりを、休耕地の解消にも役立っていただければと考えております。

微力ではありますが、私どもも皆さまのお力になれるようがんばってまいりたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願ひいたします。

最後に、本年が皆さまと能代市シルバー人材センターに明るい展望をもたらす飛躍の年となりますこと、また、会員一人一人が元気で活躍できますことを心からご祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。



シルバーの日に奉仕活動実施

10月4日、「シルバー人材センター事業普及月間」に合わせ地域の環境美化に一役買いました。小林理事長はじめ76名の会員が参加し、能代市文化会館周辺の草刈りや花壇の草取り、落ち葉の清掃作業などを行いました。あいにくの肌寒い天気でしたが、約3時間、積極的に奉仕作業に励み、きれいなまちづくりに貢献しました。

また、19日には、大塚副理事長はじめ8名の役員が公共施設等を訪問し、リーフレットによるシルバー人材センターの周知方をお願いしてきました。



シルバー人材センターのボランティアに参加して

大 高 博

友人から聞き、自分の得手、不得手で作業の選択ができて、少し緊張感と社会との接点を得ることができると思い、入会しました。

以降、仕事は楽しく、厳しく、そして、ふれあいを得たり、ストレスの解消等にシルバーを利活用しています。

また、一人では気持ちがあっても、ためらって参加しにくいボランティアにも誘って頂き、想像以上の成果です。現場においてボランティアの方の、普段以上の熱心な作業ぶりには驚き、やっぱり自主参加は違うなと感じました。多数の人海戦術が、文化会館周辺を四季の風景の美しいミニ公園にと、それに些少とも貢献でき、自分も嬉しさと楽しさを得ることができました。

これからは、この経験を生かして、他人のためにも、自分のためにもボランティアを楽しみに転化して参加したいと思っています。

《事務局からのお知らせ》

安全だより 冬期間の交通事故防止について

交通事故が多発しております。

- ◎安全速度の遵守、急ブレーキ・急ハンドル・急加速の禁止
- ◎早めのライト点灯
- ◎反射材を付け、明るい服装を
- ◎直前横断はしない

シルバー保険の内容について

1. 賠償保険

補償項目	てん補限度額
対人賠償	1名3千万円/1事故1億円
対物賠償	1事故1千万円
保管物に対する賠償事故	保管期間中1千万円

※免責 一 対人・対物・保管財物賠償：1万円

2. 傷害保険

補償項目	ケガ	特定疾病
死亡保険金	9百万円	90万円
後遺障害保険金	36～9百万円	3.6～90万円
入院保険金(日額)	3千円	3百円
通院保険金	2千円	2百円

シルバー農園について



シルバー農園に挑戦

大塚 忠巳

センターが初めて取り組んだ「シルバー農園」に参加しました。参加した20名程の会員の中には、畑仕事は初めて、という方もいましたが、皆が声を掛け合いながら順調に作業することが出来たと思います。

私は農家に生れ農家で育ちました。専業農家を引退してからも、一昨年まで、趣味として野菜作りを楽しんで来ました。若い時代からのやり方で、下作業の畑作りを何十年間も続けて来ました。今回、シルバー農園に参加して、機械を使ってのネギの植え付け、そのあまりのスピード感のある作業にはビックリ！昔は一本一本、手作業で植え付けたものです。野菜作りを始めてから、初めての経験でした。

収穫は、ネギが太く柔らかくて大成功であったと思います。他にも枝豆やかぼちゃ、さつまいもは一本が2キロもある大きなものもあり、最後の収穫は大根でした。

新鮮な野菜を味わい、また、美味しいさつまいもなど食べることができ、初めての農園としては百点満点の出来だったと思います。畑や農機具などを提供して下さった会員のIさんには感謝の気持ちでいっぱいです。

今回、作付けから収穫までの作業に参加された会員の方々は難儀をされたことと思います。が、昔も今も野菜を作る気持ちは同じです。経験者も、初めての方も一体となって作業をし、無事終了することが出来ました。

本年もまた、健康のためにも、この収穫の喜びを忘れないで頑張りたいと思います。



草取り作業

原山 昭雄

最初に、畑を提供し、作業の段取りや指導をして下さったIさんに感謝いたします。シルバー農園については、理事会や地域班会議等で検討を重ねていることは知っていましたが、詳しくは解りませんでした。

5月頃だったと思います。グランドゴルフ同好会の競技会場で、会員からシルバー農園でネギとサツマイモ、カボチャなどを植付けしたと聞きました。場所は浅内とのことでした。

そうこうしているうちに、事務局より農園の草取りを手伝いに来てくれないか、という電話がありました。それで草取りに行ったのですが、昨年の夏は猛暑であったため、熱中症にならないよう注意しながら作業をしました。誰一人、熱中症になりませんでした。暑い、暑い夏でした。

そして、秋にネギを収穫したところ、立派に育っており、大変好評でした。それから、サツマイモもネギ同様に好評でしたが、大根の収穫を知らず、成長した大根を見ることなく終わってしまったのが、とても残念でした。

終わりに、改めて畑を提供して下さったIさんとシルバーの皆様に感謝します。

ところで、今年もまたネギですか？楽しみにしています。



※本年以降も、会員の社会参加や地域との交流促進、独自事業の可能性等を探るため実施したいと考えておりますので、協力出来る方は事務局までお知らせ下さい。

配分金にかかわる 確定申告について

「配分金」は所得税法上「雑所得」に区分されます。課税対象者になると思われる会員は、各自、申告が必要となります。センターでは

平成23年分の「配分金支払証明書」を発行いたします。確定申告をする方は事務所において下さい。

除雪会員の募集について

高齢者世帯等からの除雪依頼が増加し、除雪会員が不足しております。希望者は事務局に連絡願います。

(54-4688)

会員の声



「おはようございます」 と言える喜び

木山 文子

私は毎日、朝の2時間で「おはようございます」を何回言っているだろう。10回、いや20回、もっとかもしれない。

まず、仕事に向う途中、お店のご主人、美容院の先生、85歳とおっしゃる美しい奥さん、そして仕事場でもある学校では、先生、生徒、職員の方々と顔を合わせれば必ず「おはようございます」と挨拶をする。時には、前日の楽しかった旅の話などもあり、とてもうれしい時間なのだ。

考えてみたら、これが言いたくて、聞きたくて働いているのだと思ったりもする。

今日も元気で、笑顔で言えた。明日も万全の体調で「おはようございます」と言えるように心がけたい。

私の喜びのために。



北羽美術展準備作業に参加して

平川 美記子

私はこのお話をいただいた時、子ども達の作品に会える楽しさとひとりひとりの思いが込められた作品を大事にしたいと思いました。そして、美術展開催の一翼を担っているという責任感を感じました。

作業内容や段取りは、先輩の方々のお話を聞いて確認しながらスムーズに進めることができました。また、先輩の方々の手際の良さや心をつとにしてやり遂げようとする強いパワーを感じました。

今回の準備作業に参加して、更に、二つの楽しみをいただきました。展示に至るまでの心地良い緊張感と展示された作品を見るという楽しみです。ありがとうございました。

これからもいろいろな作業を通して、たくさんの方々とお会いできるのを楽しみにしています。

これからもよろしくお願ひいたします。



ボランティアを通して

佐藤 博

5年前、ここ「バスケの街のしる」に転居、永住、そして自給自足を目指し、全く白紙の状態での人生の再出発をしました。

4年前、知人の紹介でシルバー人材センターに人会い、右も左もわからない私に、時に厳しく、

時に優しく声を掛けてくれた諸先輩のお陰で、今日まで「日々是好日」で来ることができました。「生涯新人」を常に念頭におきながら、会員の皆様のご指導のもと頑張っているところです。体力の低下を感じつつ、如何に現状維持を保てるか、日々悩みつづけているところです。

昨年は「シルバー農園元年」、試行錯誤で始めたネギ、枝豆、さつまいも、カボチャ、大根等多種に立りその成果はあったように思う。願わくば毎年継続されることを祈りたい。会員諸氏のボランティアなくしては成り立たない作業で、多くの協力があつたればこそその成果、素晴らしい成果に拍手を送りたい。

現在、いくつかのボランティアに参加している中で「北限の茶・松山茶」には、保存会の一員として力を入れています。シーズン(6月～8月初旬)には猫の手も借りたいほど、という担当者の言葉に刺激され、軽い気持ちで参加したところ意外の重労働に戸惑いはあったものの、慣れるに従い、精茶に仕上がった時の喜びは辛さを忘れさせてくれます。

体験を通して向学の為、参加されたいかがでしよう。「バスケの街」「北限の松山茶」のブランドを消すことなく、大きく灯していこうではありませんか。微力ながら時間の許す限り努めていきたいと思っています。

会員諸氏のご参加を期待しつつ今後ともよろしくご指導の程お願いします。



シルバーに人會して

佐藤 善光

シルバーの会員になって2年半、退職してからも2年半になりました。退職したての頃は毎朝仕事に出掛けないのが自分自身納得いかずこれでいいのか、の毎日でしたがシルバーからの仕事の依頼を受け、こなしていくことがどれほどの安堵感を得ることが出来るかを実感できました。

シルバーより紹介される仕事にもいろいろあり、ひとつの職種だけ勤め上げた私にとって多種多様な仕事はその都度ときどき・わくわくの連続で、ひとつの仕事が終わったあと次の仕事の依頼の連絡を心待ちにする毎日となりました。趣味を持っていないとリタイアしてから苦勞するよと常々先輩に言われてそんなに大きなこととは思っていなかったのですが時間をもてあます事になり、やはり趣味は持っているべき、ですね。

今頃になってから第二の人生といわれる日常の時間を過ごす術が見えてきた気になっており、結果家の中でも外でもよく動くことが健康上最良と悟りました。

さて今日は何しようかと外を眺めているうちにいつの間にか……。



デイ運転班会議 (H23.11.18)



S P 緑地保全管理講習会 (H23. 8.30~9.9)



齊藤能代市長へ新年度予算要望 (H23.11.16)



筆耕講習会 (H23.10.17~11.28 : 7回)

**編集
後記**

新年あけましておめでとうございます。

昨年は国内外共、自然災害が異状に発生した年でした。オーストラリア、ブラジルの大洪水を始めとして、ニュージーランドの大地震、そして3月、東日本三陸沖を震源とする大地震と、これに伴う原子力水素爆発事故、チリの火山噴火、干ばつが続いたソマリアの飢饉、9月には高知県、和歌山県、伊豆半島を中心とする台風15号の豪雨、タイ洪水被害と数えきれない。

災害は多くの人命を奪い、莫大な復興費用を費やす。景気は下降の一途を辿る。新年を期し、平穏な明るい年である事を願いたいものです。

啓光広報委員 清水清美